

クレメジン[®]を服用される方へ

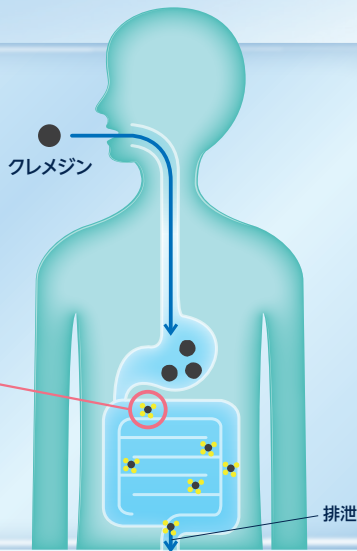
医療法人社団 松和会 理事長・順天堂大学名誉教授 富野 康日己 先生

クレメジンの働き

Point

1

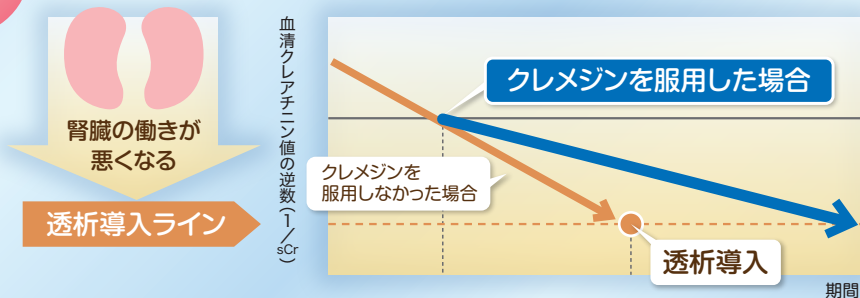
慢性腎臓病(CKD)^{シキナーディ}を悪化させる尿毒症毒素(ウレミックトキシン)を腸内で吸着し、便と一緒に排泄します。



Point

2

腎臓の働きが悪くなるのを遅らせ、透析導入までの期間を延長させます。



Maeda K, et al: J Int Med Res 2009;37(1):205-213 一部改変

※主な副作用として、便秘、食欲不振、吐き気・嘔吐、腹部膨満感、皮疹、かゆみなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

クレメジンの基本的な飲み方

種類と飲む量は？

クレメジンには、速崩錠と細粒があります。

速崩錠 500mg

1回 1包 4錠



細粒 分包2g

1回 1包



いつ飲むの？

通常、1日3回飲むお薬です。

..... [飲み方の注意]

他にお薬を飲んでいる場合

同時に飲まないで、他のお薬を飲んだあと**30分～1時間ずらして**、このお薬を飲むようにしてください。

飲み忘れた場合

気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次に飲む時間に1回分を飲んでください。

2回分を一度に飲まないようにしましょう。

服用時の注意

- 気管（空気が肺に入る通り道）に入らないように注意してください。
- 口の中に残ったお薬は、そのまま飲み込むか、うがいをして口から出すようにしてください。
- 入れ歯、歯の治療中の方は、隙間に入らないよう注意してください。
- お薬を机や床にこぼしたときは、早めにタオルなどで拭き取るか、掃除機で吸い取るようにしてください。しかし、皮膚などに触れても害はありません。

クレメジン[®]を上手に飲むために



クレメジン速崩錠 500mg の飲み方

錠剤を口の中に入れ、水で崩壊させて(柔らかくして)から飲み込んでください。

クレメジン[®]速崩錠の飲み方ムービー
<http://kremezin.jp/fukuyaku/>

動画でご覧になります。二次元コードをスマートフォンなどで読み込んでください。



1

クレメジン速崩錠 500mg の袋をキリトリ線(ミシン目)に沿って開けます。

開けにくい場合は、ハサミなどを使って開けてください。



2

錠剤1錠を舌の真ん中あたりに置きます。気管(空気が肺に入る通り道)に入らないように注意してください。

4錠目(1回分)まで同じようにお飲みください。慣れてきたら複数の錠剤を服用することも可能です。



3

少量の水を口に含みます。



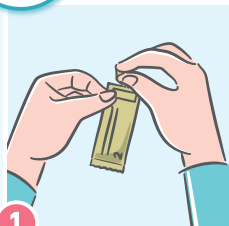
4

すぐに飲み込まず、薬が舌の上ですこし柔らかくなったら、水と一緒に飲み込みます。

口の中でお薬が広がってしまってもそのまま水で飲み込んでください。



クレメジン細粒 分包 2g の飲み方



1

クレメジン細粒分包 2g の袋をキリトリ線(ミシン目)に沿って開けます。

開けにくい場合は、ハサミなどを使って開けてください。



2

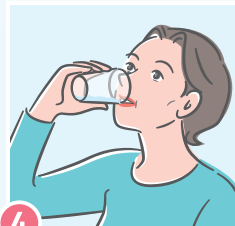
少量の水を口に含みます。



3

水を含んだ口の中に細粒を流し込むように入れて、水と一緒に一気に飲み込みます。

上を向いて口の奥のほうに入れるのがポイントです。水が気管に入らないように注意してください。



4

最後に残りの水を少し飲んで、口の中に残っている細粒をゆすぐように飲み込みます。

- クレメジン細粒分包2gを服用する際、水だけで一気に飲む方法では飲みにくいという方には、フクロオブラートやストロー、服薬補助ゼリーを使って飲む方法もあります。ご自分に合った方法をさがしてお飲みください。

慢性腎臓病シーケーティ(CKD)を 進行させないことが大切です。

慢性腎臓病シーケーティ(CKD)の主な原因

慢性腎臓病シーケーティ(CKD)

加 齢

高 血 圧

糖 尿 病

肥 満

メタボリックシンドローム

など

進行すると…

心血管系イベントの発症

慢性腎臓病シーケーティ(CKD)が進むにつれて、心血管系イベントを発症するリスクは高くなります。

脳卒中

心筋梗塞

狭心症

心不全

など

透析導入

体内の有害物質を尿から十分に排泄できず、透析療法や腎移植が必要になります。

透析療法

腎移植

血縁者にシーケーティCKD患者さんがいる場合は、禁煙や、減塩食など、より良い生活習慣を心がけることも大切です。

日本腎臓学会：CKD診療ガイド2024より作成